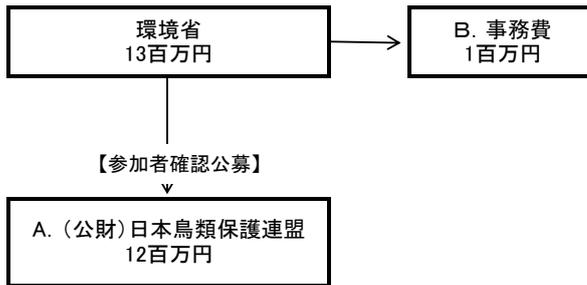


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	トキ生息環境保護推進協力費		<b>担当部局庁</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成13年度～		<b>担当課室</b>	野生生物課		<b>課長</b>	中島慶二	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-3 野生生物の保護管理				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保全に関する法律(第46条)		<b>関係する計画、 通知等</b>	保護増殖事業計画 日中共同トキ保護計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	平成15年度に締結し、平成22年度に更新した「日中共同トキ保護計画」に位置づけられている、日中のトキ保護協力に関する基本的枠組みに基づき、中国におけるトキの人工繁殖個体の野生復帰技術の向上を図り、日中トキ保護の技術交流を行う。さらに、本事業により得られた結果を我が国におけるトキの野生復帰に役立てる。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	①中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査 ②野生個体群の生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ③野生個体群非生息地域における野生復帰・モニタリング技術の検討調査 ④中国へのトキ移送に関する業務 ⑤日中トキ保護国際技術交流会議							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	22	20	16	16	16	
	執行額	23	20	13				
	執行率(%)	103%	99%	81%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	世界でも最も絶滅のおそれが高い鳥類であり、野生下では日中両国のみで生息するトキを絶滅の危機から救う。どのような数値を持って絶滅の危機から脱したと判断するかは検討中のため、定量的な成果目標は示すことができない。		成果実績	—	—	—	—	—
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	・中国トキの野生復帰に向けた調査 ・日中間のトキ移送 ・日中トキ保護国際技術交流会議開催		活動実績 (当初見込み)	式	1 (1)	1 (1)	1 (1)	— (1)
<b>単位当たり コスト</b>	各活動実績についてはまとめて契約し業務執行をしており、実績ごとに費用を分割して算出することは困難であるため、コストは示していない		算出根拠					
平成25・26年度 予算内訳	<b>費目</b>		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費		16	16				
	計		16	16				

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	トキは世界的に絶滅のおそれの高い種であり、繁殖状況について国民から大きな関心が寄せられている。野生復帰を進めることで我が国の生物多様性保全に大きな普及啓発効果がある。また、野生復帰を進める上で遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって中国との協力関係の強化は必要不可欠。トキの野生復帰は国が主体となって進めており、また新たな個体供与については中国との交渉を伴うため、国が実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業者の選定には公募を実施している。費用は中国における調査、日中間のトキ移送の為に血液分析及び中国の野生復帰に係る情報収集等、必要なものに限定して使用されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	今後、日本のトキ個体群の拡大を進めていく上で、遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって、中国との協力関係の強化は必要不可欠である。これまでに中国から5羽のトキの供与を受け、平成25年5月時点の飼育下個体数は220羽を超えるまでになっている。調査の内容は関係者で共有し、施策に反映している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	今後、日本のトキ個体群の拡大を進めていく上で、遺伝的な多様性の確保が大きな課題であり、新たな系統を中国に依存せざるを得ない我が国にとって、中国との協力関係の強化は必要不可欠であるため、継続して事業を実施する。今後とも効果的かつ効率的に事業を実施していく。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	164	平成23年	158	平成24年	165

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



日中トキ生息保護協力事業  
中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査、トキの引き渡しにかかる事業等

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A. (公財)日本鳥類保護連盟			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	現地調査、情報収集	1			
委託費	通訳料、翻訳料、現地調査補助等	9			
旅費、謝金	現地調査旅費、専門家謝金等	1			
その他	消費税等	1			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日本鳥類保護連盟	日中トキ生息保護協力事業 中国トキの野生復帰に向けた生息環境改善のための調査、トキの引き渡しにかかるとる事業等	12	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					